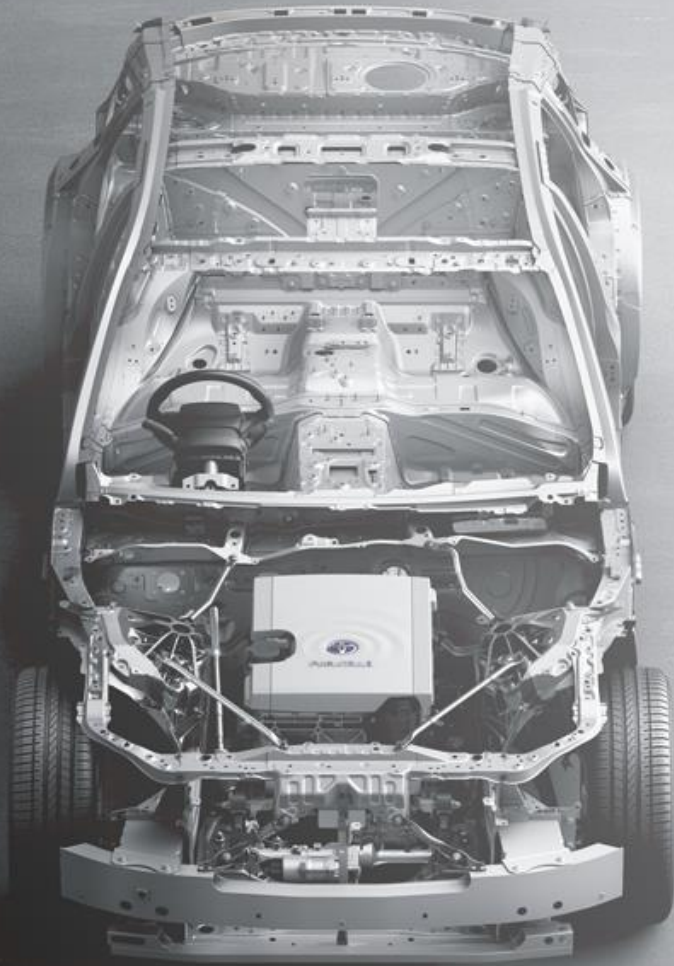




2022年3月期 第2四半期 決算説明会

第98期：第2四半期累計期間
(2021年4月1日～2021年9月30日)

2021年10月29日

太平洋工業株式会社

1. 第2四半期業績
2. 2021年度通期予想
3. サステナビリティ経営・重点取組み
4. 新工場の建設

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

感染防止・雇用・生産体制維持を第一義にGLOCALに足元固め

■ 経営環境の変化

- ・コロナ感染拡大（第5波）
- ・半導体供給不足、部品供給不足による生産変動
- ・原材料の高騰

■ コロナ禍での取り組み

- ・改善、原価低減、固定費削減
- ・雇用調整助成金の活用
- ・従業員の教育
- ・社員と家族の感染防止
- ・サプライチェーンの維持

■ 今後の課題

- ・コロナ影響の長期化、第6波への備え
- ・半導体・部品の供給懸念、中国電力不足影響
- ・生産変動、挽回生産に向けた体制準備

1-1 2Q 連結業績



前年度のコロナ禍での業績からは回復。9月の顧客減産により、予想には届かず

(億円、%)

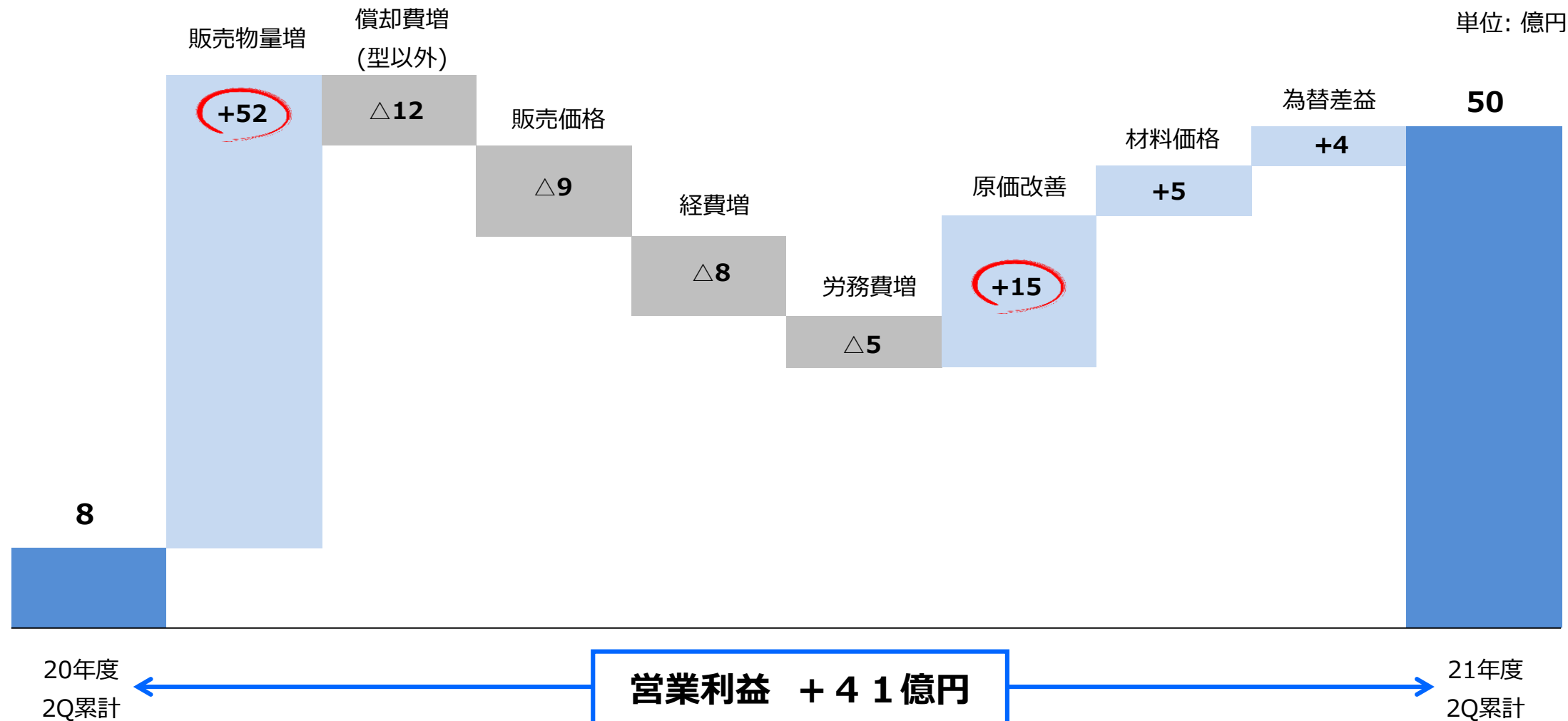
	2020年度 2 Q累計実績	2021年度 2 Q累計予想	2 Q累計実績	前年同期比		予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	648	830	784	+135	+21.0	△45	△5.5
営業利益	8	65	過去最高 50	+41	+482.6	△14	△22.7
営業利益率	1.3%	7.8%	6.4%	+5.1P	－	△1.4P	－
経常利益	13	70	過去最高 57	+44	+341.4	△12	△17.2
経常利益率	2.0%	8.4%	7.4%	+5.4P	－	△1.0P	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	9	50	過去最高 43	+34	+364.9	△6	△12.4
四半期純利益率	1.5%	6.0%	5.6%	+4.1P	－	△0.4P	－
平均為替レート（米ドル）	106.4円	110.2円	109.9円	+3.5円	－	△0.3円	－

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額は以下の通りです。利益への影響は軽微です。

売上高は、金型費用回収の一括認識により8億円増加、客先受給品の売上高と売上原価の相殺表示により22億円減少しております。

1-2 2Q 連結営業利益 増減要因

販売回復と原価改善により、過去最高益を達成



1-3 2Q 連結事業別セグメント

プレス・樹脂、バルブともに増収増益の黒字

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	増減	増減率	20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	増減	増減率
プレス・樹脂	457	532	+75	+16.5	△2	16	+19	－
(収益認識適用の影響)		(△14)						
営業利益率					△0.5%	3.1%	+3.6P	
バルブ	190	250	+60	+31.5	10	33	+22	+212.2
(収益認識適用の影響)		(0)						
営業利益率					5.7%	13.5%	+7.8P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

1-4 2Q 連結地域別セグメント

日本、欧米、アジアともに増収増益の黒字

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	前年同期比		20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	306	334	+27	+9.1	5	31	+25	+473.9
(収益認識適用の影響)		(△13)						
営業利益率					1.8%	9.3%	+7.5P	
欧米	224	297	+72	+32.4	△3	5	+8	—
営業利益率					△1.6%	1.8%	+3.4P	
アジア	116	151	+35	+30.0	5	13	+8	+158.7
営業利益率					4.3%	8.6%	+4.3P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

1. 第2四半期業績
- 2. 2021年度通期予想**
3. サステナビリティ経営・重点取り組み
4. 新工場の建設

2-1 通期 連結業績予想

2Q累計実績を踏まえ、最新情報を下期予測に織り込み、通期予想を見直し

(億円、%)

	2020年度	2021年度		前期比		前回予想比	
	実績	前回予想	今回予想	増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,504	1,640	1,640	+135	9.0%	+0	0.0%
営業利益	89	125	105	+15	17.0%	△20	△16.0%
営業利益率	6.0%	7.6%	6.4%	+0.4P	—	△1.2P	—
経常利益	112	140	125	+12	11.4%	△15	△10.7%
当期純利益	79	100	90	+10	12.8%	△10	△10.0%
R O E	7.6%	8.5%	7.7%	+0.1P	—	△0.8P	—
R O A (営業利益ベース)	4.2%	5.4%	4.6%	+0.4P	—	△0.8P	—
一株当り純資産	1,846円	2,021円	2,018円	172円	9.3%	△3円	△0.1%
平均為替レート (米ドル)	105.4円	107.5円	110.0円	4.6円	—	2.5円	—

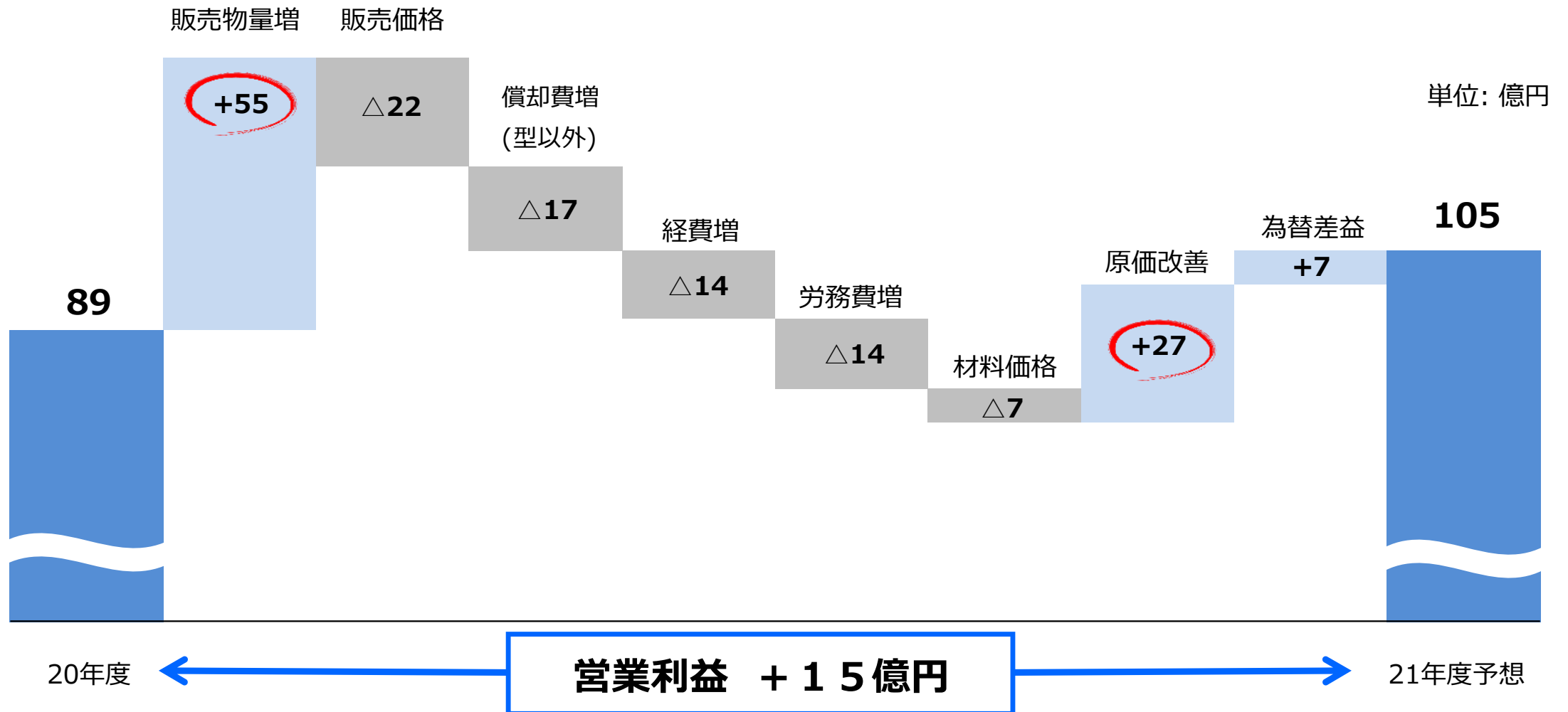
※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額は以下の通りです。利益への影響は軽微です。

売上高は、金型費用回収の一括認識により7億円増加、客先受給品の売上高と売上原価の相殺表示により49億円減少を見込みます。

2-2 通期 連結営業利益 増減要因

販売は回復を想定。継続的な原価改善で増益を見込む



2-3 通期 連結事業別セグメント

プレス・樹脂、バルブともに増収増益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20年度 実績	21年度 予想	前期比		20年度 実績	21年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	1,045	1,136	+90	+8.7	39	42	+2	+7.4
(収益認識適用の影響)		(△42)						
営業利益率					3.7%	3.7%	+0.0P	
バルブ	457	501	+43	+9.6	49	63	+13	+26.0
(収益認識適用の影響)		(0)						
営業利益率					10.9%	12.6%	+1.7P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

2-4 通期 連結地域別セグメント

日本、欧米、アジアいずれも増収増益を見込む

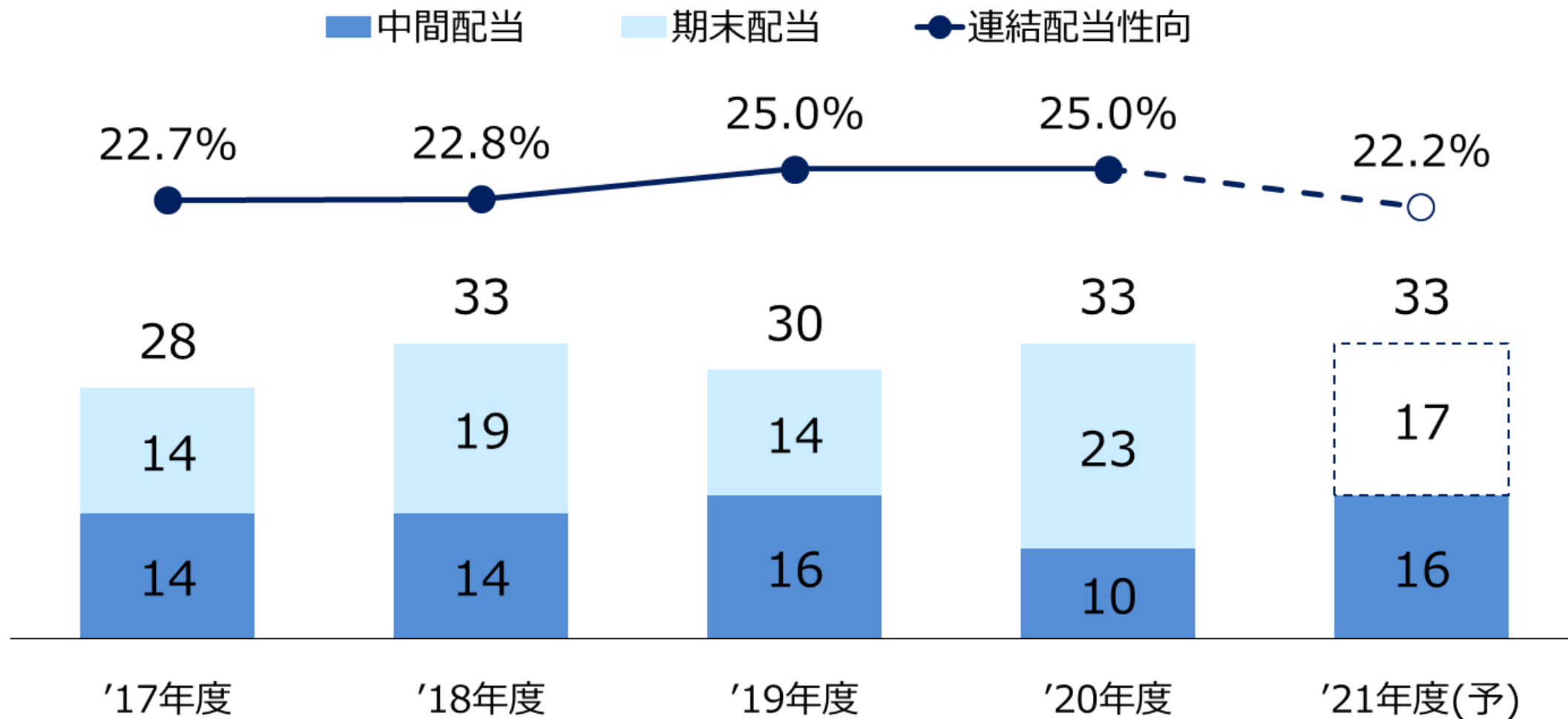
(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20年度 実績	21年度 予想	増減	前期比 増減率	20年度 実績	21年度 予想	増減	前期比 増減率
日本	702	718	+15	+2.2	51	63	+11	+21.7
(収益認識適用の影響)		(△42)						
営業利益率					7.4%	8.8%	+1.4P	
欧米	523	595	+71	+13.7	15	17	+1	+8.5
営業利益率					3.0%	2.9%	△0.1P	
アジア	277	327	+49	+17.7	18	24	+5	+26.3
営業利益率					6.8%	7.3%	+0.5P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

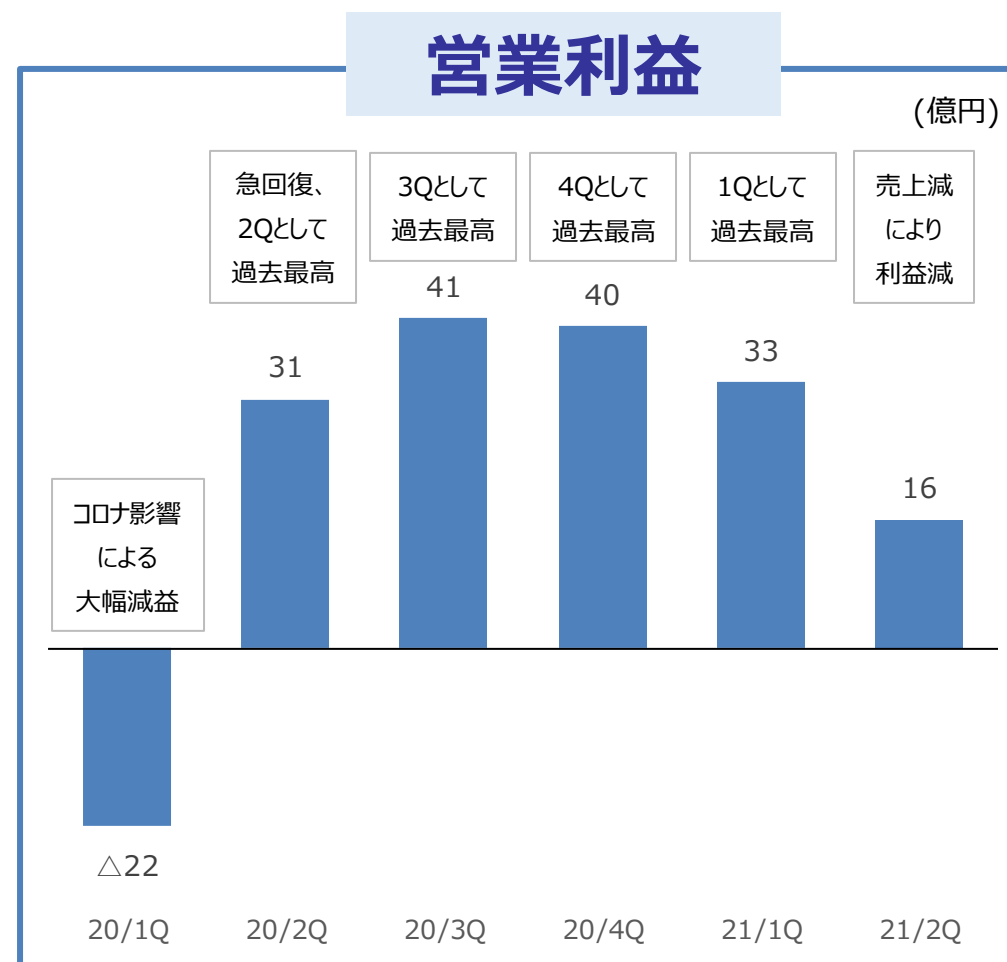
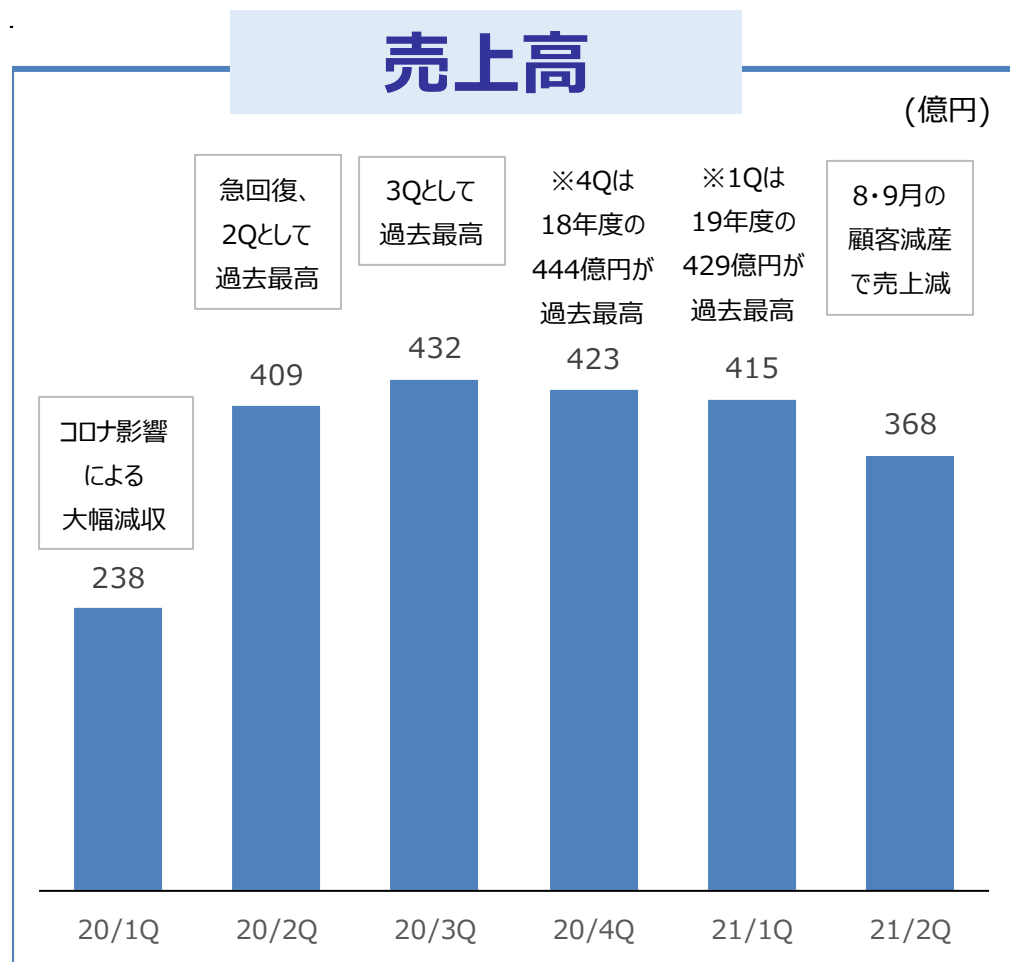
2-5 株主還元

中間配当は予想通り16円。期末配当は17円を予想。



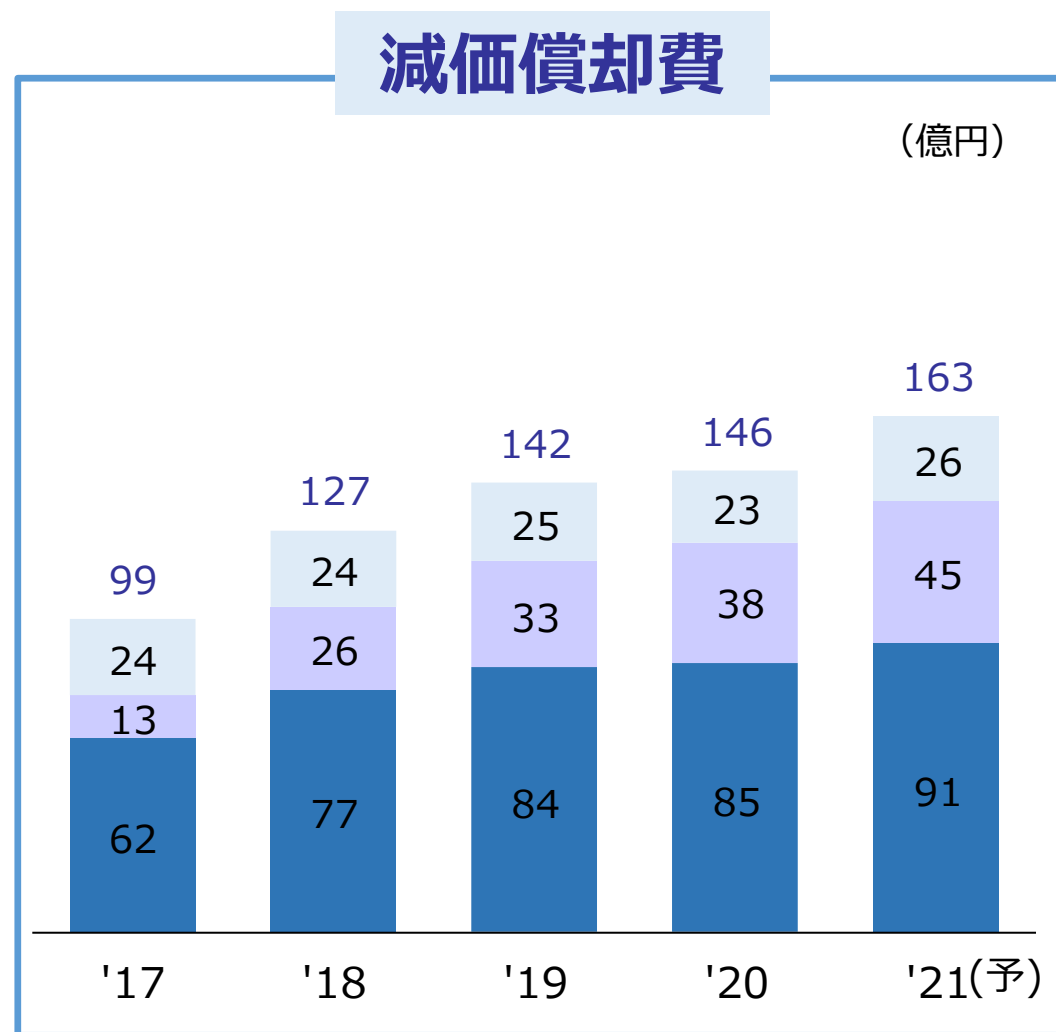
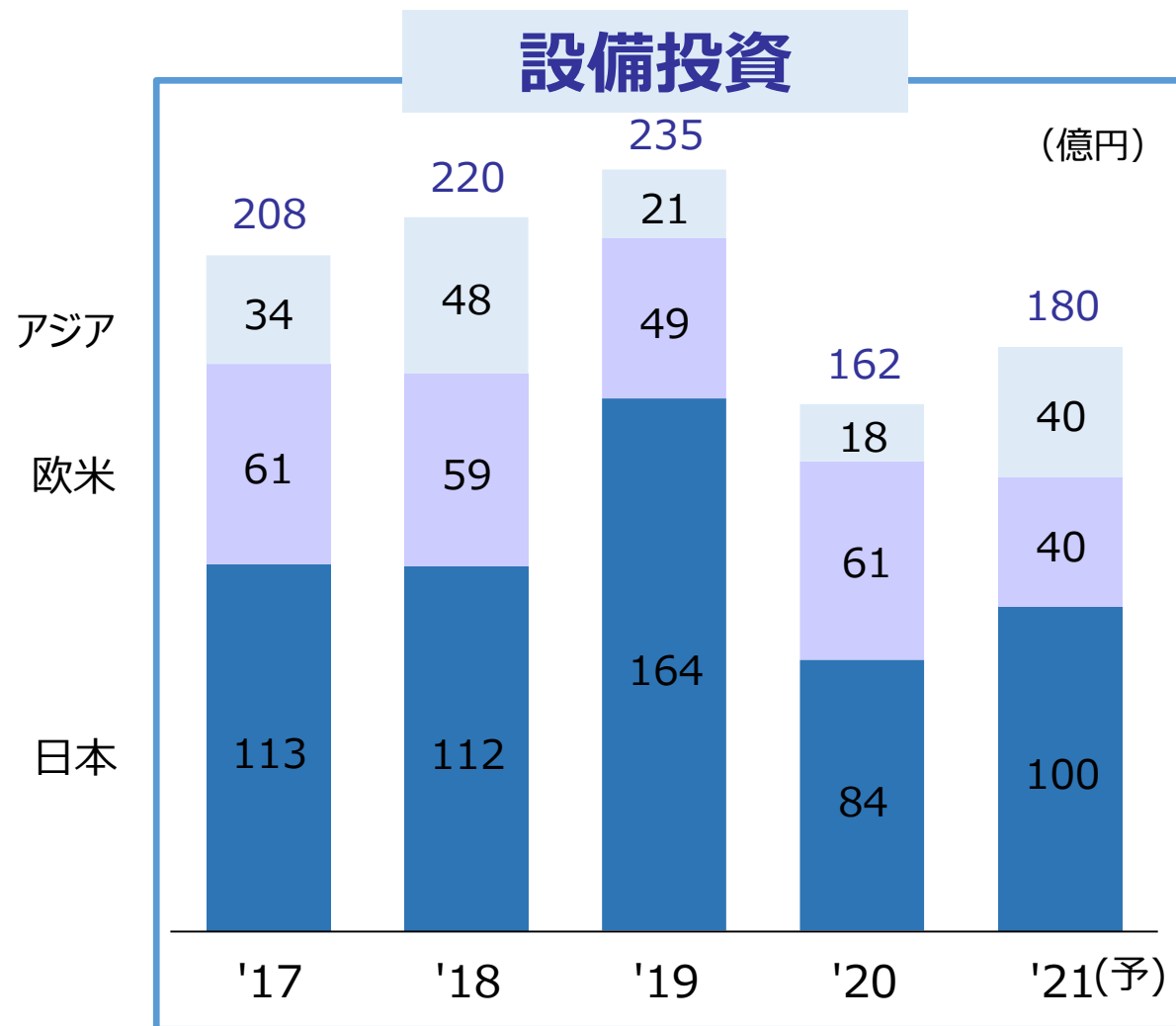
2-6 四半期別 連結業績推移

減産影響により、21年度第2四半期は売上・利益減



2-7 連結設備投資・減価償却費

設備投資は効果の大きなもの・早く出るものを優先して実施



1. 第2四半期業績
2. 2021年度通期予想
- 3. サステナビリティ経営・重点取組み**
4. 新工場の建設

3-1 太平洋工業グループの価値創造モデル

グループ一体となり、社会から必要とされる企業をめざす

太平洋工業グループの価値創造モデル

次世代モビリティ社会において、豊かな生活と環境に「ものづくり」で貢献する会社

社会課題

- ・気候変動
- ・資源の枯渇
- ・水資源の危機
- ・生物多様性
- ・人権問題
- ・健康への被害
- ・人口爆発と少子高齢化
- ・交通事故

リスク

- ・自然災害と感染症
- ・少子高齢化
- ・国内外の政治経済情勢
- ・サイバーセキュリティ
- ・グローバル競争の激化
- ・人材確保・育成
- ・環境課題(気候変動・資源・水)

機会

- ・安全・環境規制の強化
- ・自動車市場の成長
- ・自動車の構造転換
- ・AI・IoTの活用
- ・省エネ・軽量化
- ・カーボンニュートラル

社内・社外の経営資源

財務資本	健全かつ安定した財務基盤
製造資本	生産設備・金型・ものづくりノウハウ
知的資本	開発・評価・解析技術
人的資本	国内外のグループ人材
社会・関係資本	ステークホルダーとの連携
自然資本	原材料・エネルギー・資源

プレス・樹脂事業

新規事業

バルブ事業

経営基盤

経営コーポレート機能

強み

プレス・樹脂事業

- ・軽量・高剛性を実現する超ハイテン材プレス成形技術
- ・EV技術・フィルム加飾技術・NV性能制御技術

バルブ事業

- ・バルブ：世界No.1シェアと世界4極の生産・販売体制
：流体制御・電動制御技術と多彩な製品ラインアップ
- ・TPMS：車載電装技術・圧動的品質と世界4極の生産・販売体制

新規事業

- ・無線通信技術・センシング技術・AI技術

太平洋工業グループのめざす姿

ブランドスローガン

思いをこめて、あしたをつくる

～Passion in Creating Tomorrow～

PACIFIC GLOCAL VISION

めざす企業像

ステークホルダーに信頼され、地域社会に根ざし、共存・発展できる真のGLOCAL企業

持続可能な社会に向けて、コア技術を活かし、新事業・新製品・新技術を提供し続ける企業

社員の新しい発想や挑戦を大切に、仕事と生活の調和が実感できる企業

サステナビリティ経営 4つの柱

製品を通じた社会・顧客課題の解決

人財の尊重と活躍

ステークホルダーとの信頼醸成

環境負荷の極小化



中期経営計画
OCEAN-22

信頼・革新・挑戦

PACIFIC VALUES

「夢と挑戦」「信頼と感謝」

価値創造関連 ハイライト

財務ハイライト (2020年度)

売上高 / 1,504億円
営業利益 / 89億円
ROA / 4.2%

非財務ハイライト

国内外のお客様から、数々の表彰を受賞 → p26
人権方針策定 → p37
健康宣言 → p38
行動ガイドライン & 仕入先CSRガイドライン
自己点検実施 → p24.25
廃棄物を大幅に削減 → p36

KPIは19、20ページ

3-2 外部環境変化、社会・顧客課題への取り組み

サステナビリティ経営へシフトし、持続的に成長する企業をめざす

PACIFIC GLOCAL VISION

【100年に一度の大変革】・CASE ・モビリティ社会進展

【OCEAN-22】

業界動向・顧客ニーズに応える技術開発・拠点整備
新技術・新材料・新工法開発の加速

軽量化

防音・防振

電動化

新領域・新製品

カーボンニュートラル
SDGs など
社会的要求の高まり

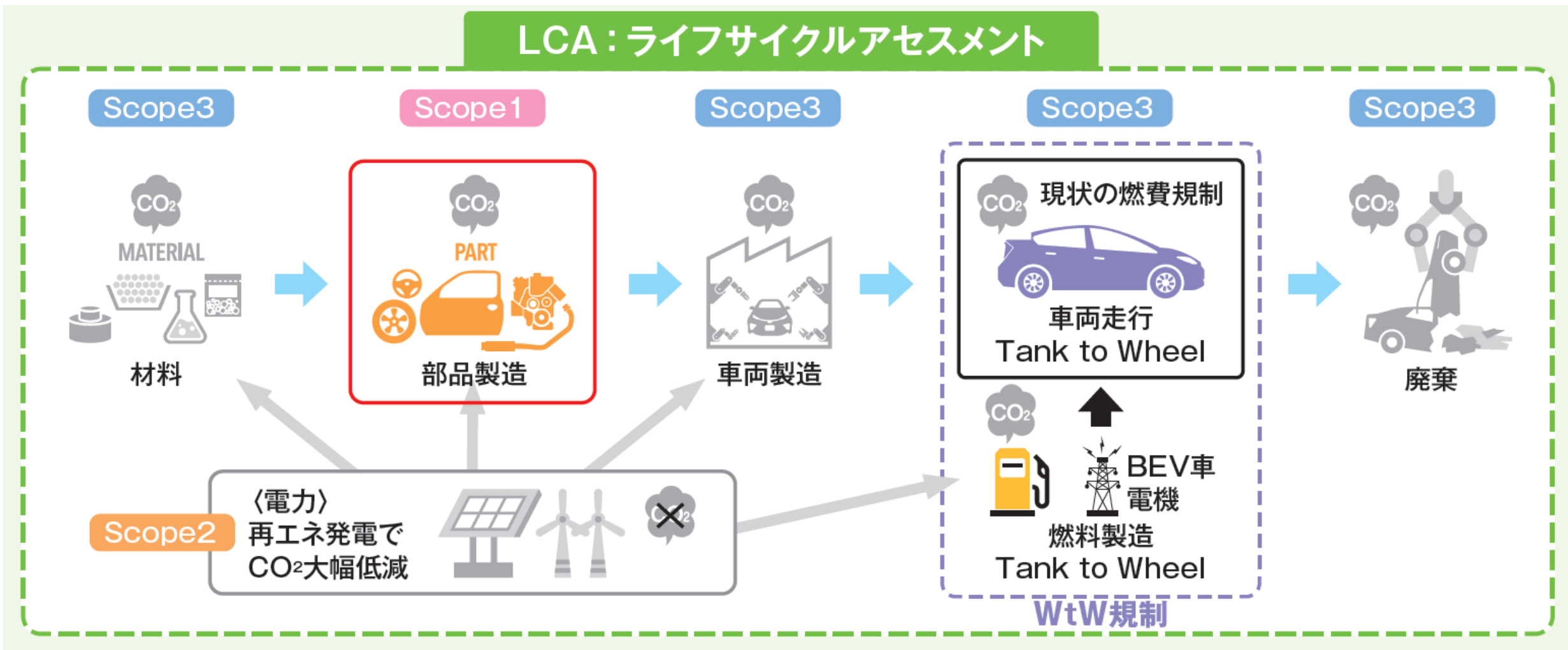
コロナ影響
スピードアップ
DX など

サステナビリティ経営

3-3 ライフサイクルでのCO2排出量削減

仕入れ・生産・使用・廃棄までを見据えた取り組みを推進

LCA：ライフサイクルアセスメント



3-4 「OCEAN-22」を縦糸に、SDGs活動を横糸に紡ぐ



思いをこめて、あしたをつくる PACIFIC GLOCAL VISION

PACIFIC環境チャレンジ2050

OCEAN-22

SDGs活動

ステークホルダーとの信頼醸成

製品を通じた社会・顧客課題の解決

環境負荷の極小化

30年目標：CO2排出量 50%削減

人財の尊重と活躍

事業活動

プレス・樹脂
製品事業



バルブ製品
事業



新製品
事業



PACIFIC VALUES 「夢と挑戦」「信頼と感謝」

次世代モビリティ社会で、豊かな生活と
持続可能な暮らしに「ものづくり」で貢献

3-5 サステナビリティの重要課題

長期ビジョンと関連する、4つのテーマと15のマテリアリティを特定

Vision : 持続可能な社会に向けて、コア技術を活かし、新事業・新製品・新技術を提供し続ける企業

■ 製品を通じた社会・顧客課題の解決

持続可能なモビリティ社会と豊かな暮らしへの貢献
モビリティの安全性向上
環境配慮製品の開発



■ 環境負荷の極小化

気候変動の緩和および適応
持続可能な資源の利用
水資源の保全



Vision : ステークホルダーに信頼され、地域社会に根ざし、共存・発展できる真のGLOCAL企業

■ ステークホルダーとの信頼醸成

企業倫理・コンプライアンス
責任ある調達
顧客満足度の向上
地域社会の発展



Vision : 社員の新しい発想や挑戦を大切に、仕事と生活の調和が実感できる企業

■ 人財の尊重と活躍

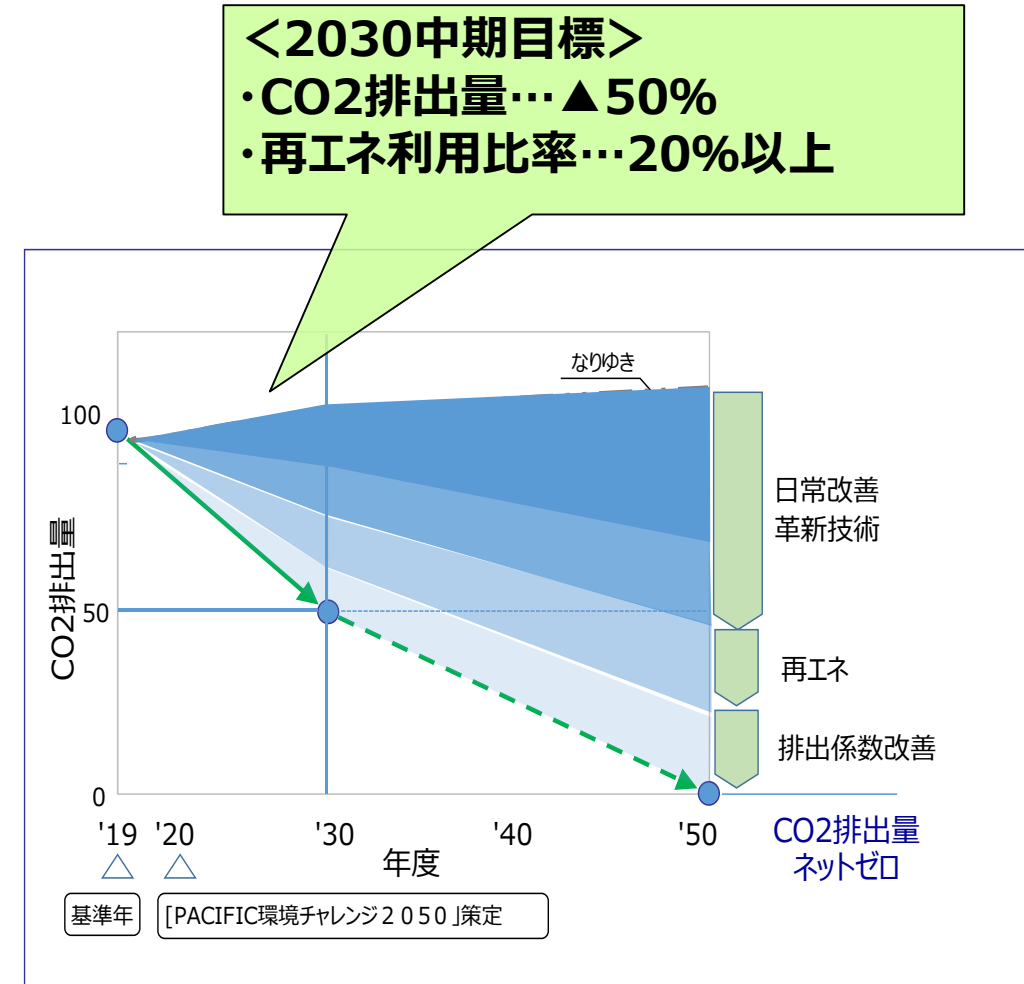
人権の尊重
安定した雇用と働きやすい職場
従業員の安全と健康
人財育成と挑戦できる風土の醸成
ダイバーシティ&インクルージョン



3-6「PACIFIC環境チャレンジ2050」

環境負荷の極小化の取組みでマイルストーンを定めて活動を推進

	マテリアリティ	SDGs	項目	現状 (19年度実績)	2030年 目標	2050年 目標
カーボン ニュートラル	気候変動の 緩和及び 適応	 	CO ₂ 排出量	93.9(kt)	2019年度比 50%削減	ネットゼロ
			廃棄物 排出量	3,132(t)	2019年度比 国内 60%削減 海外 30%削減	極小化
環境負荷 極小化	持続可能な 資源の利用		水使用量	1,744 (km ³)	適正利用	極小化
	水資源の 保全					



3-7 カーボンニュートラルに向けた取組み

3つの切り口でエネルギー低減策を洗い出し、CO2排出量削減目標達成をめざす

日常改善活動による省エネ	・トヨタ生産方式をベースとした生産性向上 ・エア漏れ・蒸気漏れ修繕
生産設備の開発・高効率設備導入による省エネ	・設備更新時などの高効率設備導入 ・照明のLED化 ・ボイラー重油の都市ガス化
再生可能エネルギーの活用	・太陽光発電の計画的な導入 (国内6拠点、海外1拠点導入済)

ICP(Internal Carbon Pricing)*1の導入

・「設備で想定される消費電力、排出されるCO2量に応じたICP金額」を追加ランニングコストとして見える化。投資判断の一つの基準として運用。

*1 企業が独自に設定する炭素価格で低炭素投資・対策を推進する仕組み

3-8 人財の尊重と活躍、健康宣言

人権の尊重を最優先し、健康経営を推進

人権方針

太平洋工業グループとしての方針、
管理運用方法の原則

1. 基本方針
2. 人権リスクの把握・評価・防止
3. 救済
4. 教育
5. 定期的な見直し・改善

人権デューディリジェンス・救済

+

「行動ガイドライン」

「仕入先CSRガイドライン」

健康宣言

健康経営で、いきいきと働き、企業も成長できる好循環へ！

太平洋工業グループ 健康宣言

当社は、社員の健康と安全を“ものづくり”の
原点と考え、会社と社員の持続的成長のため、社員とご家族の心身の健康維持・増進
と働きやすい職場環境づくりに取り組みます。
ブランドスローガンにある「思いをこめて、あした
をつくる」ために、新しい発想や挑戦を大切に、
仕事と生活の調和が実感でき、健全でいきい
きと働ける会社づくりに努めることを宣言します。

2021年9月



3-9 ステークホルダーとの信頼醸成

相互の信頼に基づく共存共栄の取組みと、積極的な情報開示を推進

活動基盤となる方針体系整備

- ・行動規範、行動ガイドライン、
仕入先CSRガイドラインの改定、グローバル展開
- ・教育と順守状況チェック

コロナ禍における地域社会支援

- ・創業90年事業：岐阜県へ「PCR検査カー」寄贈
マスク生産：社員・仕入先・地域へ配布
- ・タイ子会社創業30年：パートナーと「救急車」の寄贈



サステナビリティ情報開示



- ・サステナビリティレポート2021発行
<https://www.pacific-ind.co.jp/csr/report/>

- ・CDP 気候変動評価
リーダーシップレベル「A-」獲得
サプライヤーエンゲージメント評価
「リーダーボード」選出



- ・TCFD賛同、気候変動影響の戦略への統合と情報開示を推進

3-10「OCEAN-22」を縦糸に、SDGs活動を横糸に紡ぐ



思いをこめて、あしたをつくる PACIFIC GLOCAL VISION

PACIFIC環境チャレンジ2050

OCEAN-22

SDGs活動

ステークホルダーとの信頼醸成

製品を通じた社会・顧客課題の解決

環境負荷の極小化

30年目標：CO2排出量 50%削減

人財の尊重と活躍

事業活動

プレス・樹脂
製品事業



バルブ製品
事業



新製品
事業

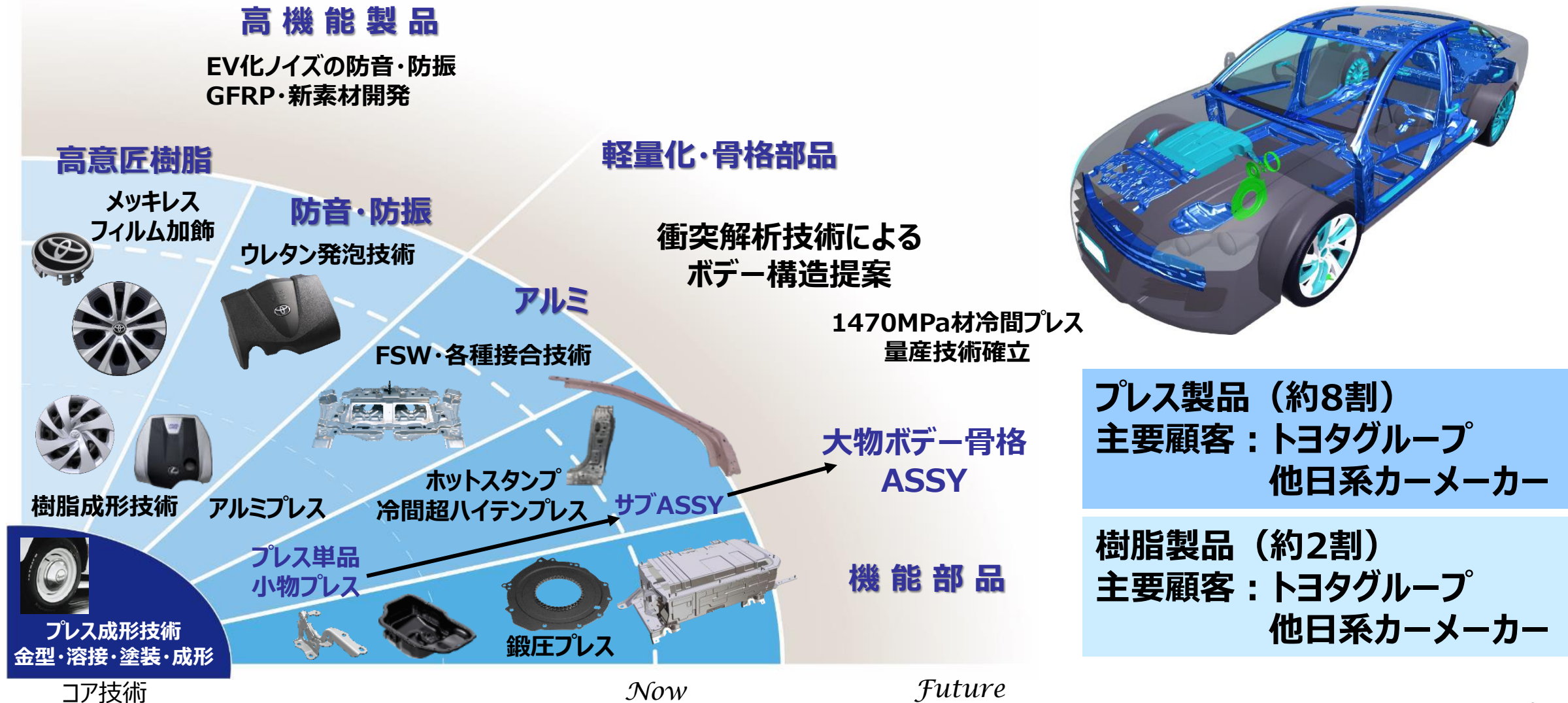


PACIFIC VALUES 「夢と挑戦」「信頼と感謝」

次世代モビリティ社会で、豊かな生活と
持続可能な暮らしに「ものづくり」で貢献

3-11 プレス・樹脂事業の主要製品と技術領域

車体強度・剛性を確保するボデー骨格部品、高意匠・高機能の樹脂部品などを供給

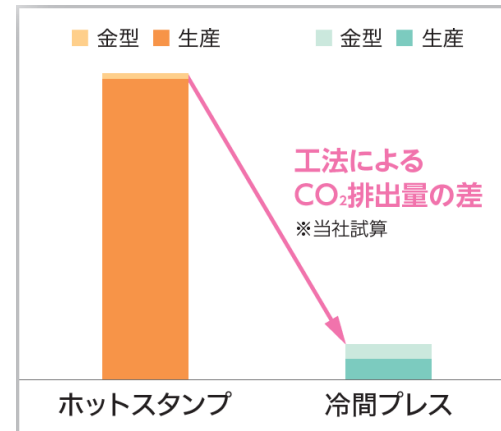


3-12 超ハイテン戦略：重点施策

ボデー構造解析技術により、衝突安全性と車体軽量化に貢献

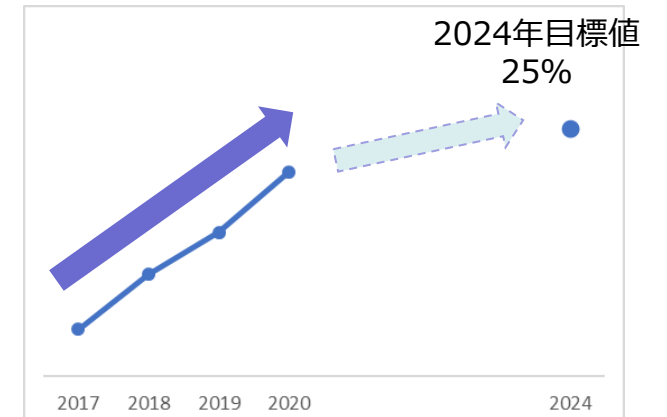
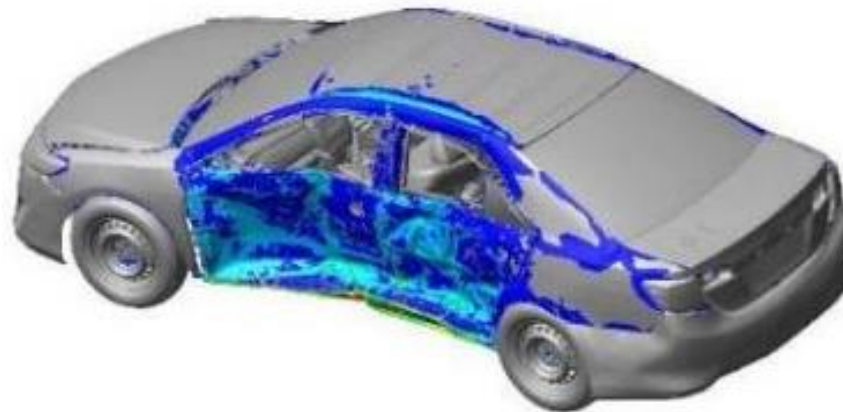
骨格プレス部品の領域拡大

- ・ホットから冷間への置き換え提案推進
- ・1470MPa材 冷間成形・量産技術開発
- ・大物ボデー骨格ASSY部品の拡充



構造解析・提案力強化

- ・衝突解析・成形解析/評価
- ・解析モデル拡大、精度向上
- ・ボデー構造の最適提案



(KPI) プレス製品に占める
超ハイテン製品売上高比率推移

3-13 樹脂技術戦略：重点施策

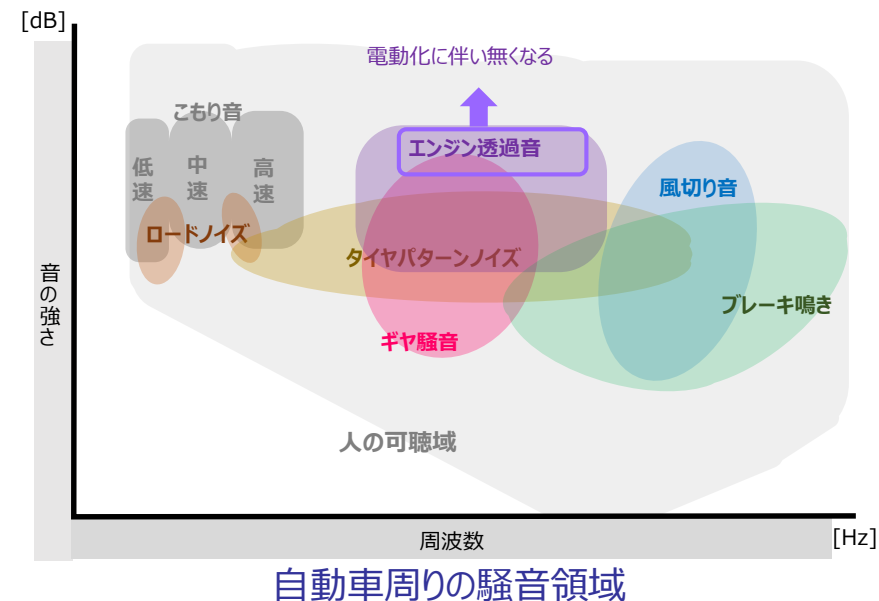
防音・防振技術を活用した、EV化ノイズ対策製品開発
環境に優しいフィルム加飾技術で競争力強化



オールウレタンエンジンカバー

ウレタン発泡成形技術

特徴：軽量化と防音性能を両立
EV化でニーズが高まる
ノイズ対策製品の
開発を推進



センターオーナメント

フィルム加飾オーナメント

特徴：フィルムインサート成形による
めっきレス加工で、
100%リサイクル可能
コスト低減と意匠性を両立

ホイール加飾パーツ

特徴：アルミホイールに取り付け空力性能・意匠性向上



アルミホイール

樹脂加飾パーツ



アルミホイール

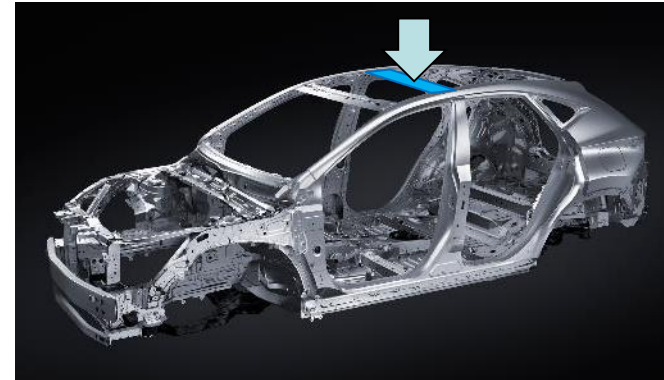
ホイールキャップ

3-14 新製品トピックス

戦略的に新技術・新製品を開発、順次採用・量産化を推進

1470MPa材 冷間プレス部品採用

- ・レクサスNX ルーフセンターラインフォースメントに採用
- ・従来比22%減の軽量化
- ・他車型への適用拡大提案を推進



軽量化により、重心高低減、操縦安定性の向上に寄与



ルーフセンターラインフォースメント

GFRPエンジンアンダーカバー採用

- ・SUV系車両では世界初採用
- ・従来比76%減の軽量化
- ・トヨタ自動車様からプロジェクト表彰を受賞
- ・日刊工業新聞社【超モノづくり部品大賞】
「モビリティ関連部品賞」受賞



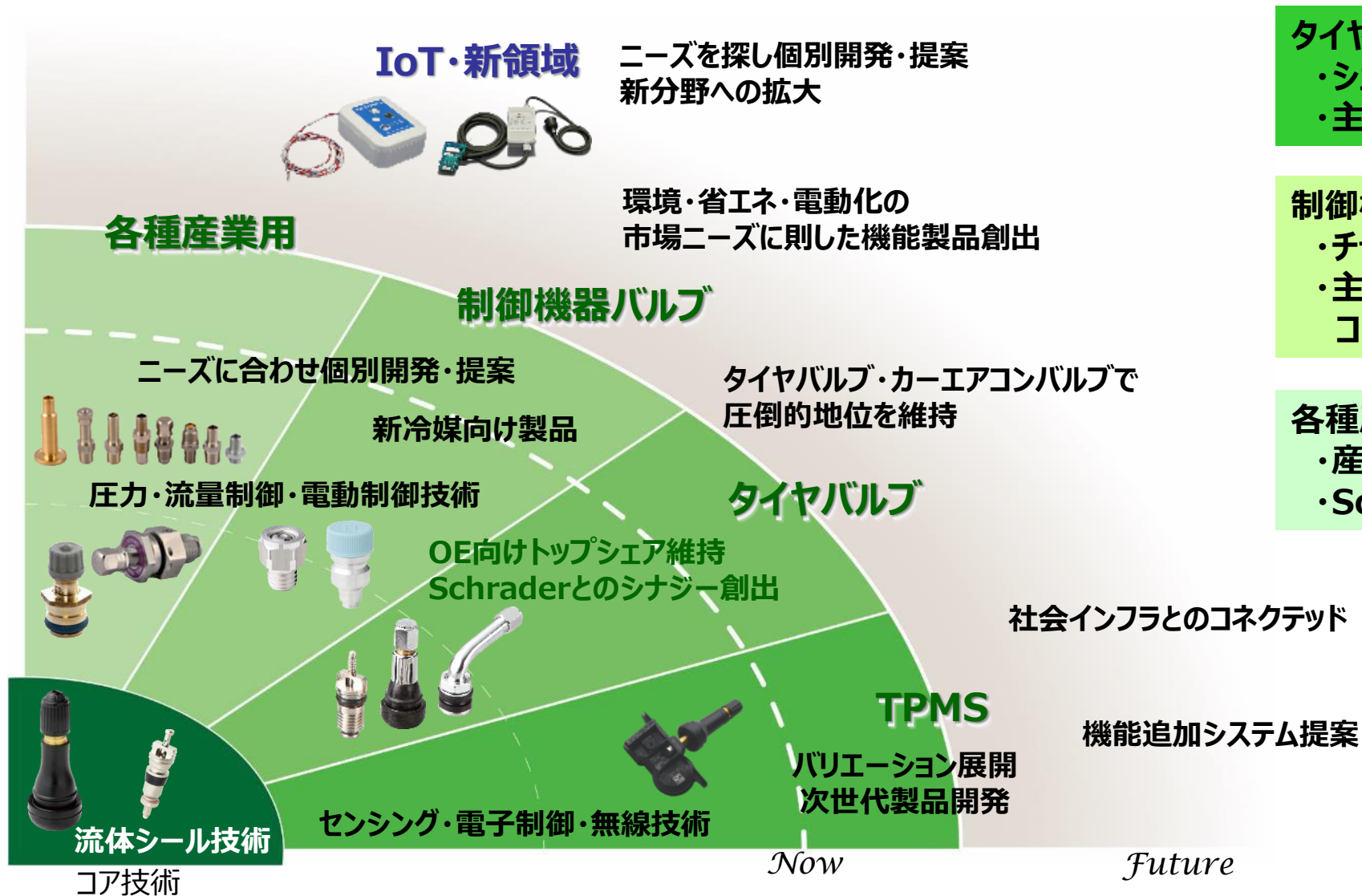
オフロードでのボデー下部保護により優れた走破性に寄与



GFRPエンジンアンダーカバー

3-15 バルブ事業の主要製品と技術領域

創業製品のバルブコアで培った流体シール技術をコア技術として各種バルブを開発・製造



タイヤバルブ

- ・シェア 国内100%、海外約50%
- ・主要顧客 国内外タイヤメーカー

制御機器バルブ

- ・チャージバルブ・リリーフバルブなど
- ・主要顧客 カーエアコン用
コンプレッサーメーカー、配管メーカー

各種産業用バルブ

- ・産業機械用、航空機用など
- ・Schrader事業取得により獲得



アルミダイカスト製品
(韓国生産)

3-16 電動化に向けた制御バルブ開発・拡販

PACIFIC

電動化の進展に向けた、ヒートポンプカーエアコン用制御バルブの開発加速

市場ニーズの変化

パワートレインの変化
脱エンジン・モーター駆動

暖房用熱源が不足

ヒートポンプカーエアコン
システム



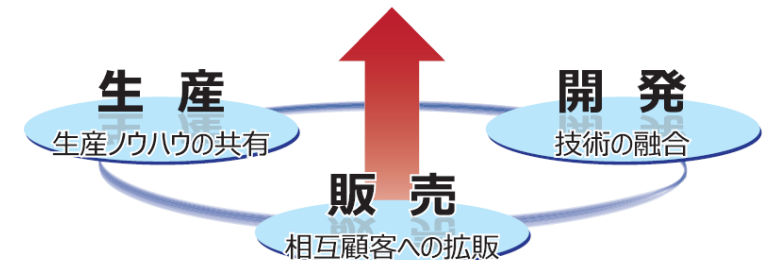
BEV向け電動膨張弁

- ・ヒートポンプカーエアコンへの移行で、電動膨張弁など制御バルブのニーズ増加
- ・各地域顧客へプロトタイプ納入、評価を推進

開発・販売体制

- ・日・米・欧3拠点体制で開発スピードアップ
- ・各地域の顧客ニーズを把握し、開発・販売のシナジー創出、グローバル拡販推進

**SCHRADER PACIFICで
世界No.1 バルブメーカーを目指す**



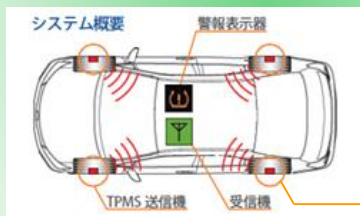
SCHRADER PACIFIC
Advanced Valves

3-17 新分野の技術開発

コア技術を活かし新製品開発、ソリューションも含めた新事業展開を推進

TPMSコア技術

無線・センシング



市場ニーズ
モニタリング需要

《活用分野》

食品輸送

※HACCP管理手法

医薬品輸送

※GDPガイドライン

畜産業界

IT・産業界

3-18 センシング技術を応用した新製品

物流ソリューションに新たな価値を提供

マルチセンシングロガー「e-WAVES」

- ・温度、湿度、振動、位置、気圧、照度のセンシングが可能
- ・食品輸送、医薬品輸送時の状況をリアルタイムで確認



データはLTE 網を利用しクラウドに格納



「e-WAVES」



・製品紹介ホームページ : <https://www.pacific-ind.co.jp/iot/ewaves/>

1. 第2四半期業績
2. 2021年度通期予想
3. サステナビリティ経営・重点取組み
- 4. 新工場の建設**

4-1 東大垣工場に新工場を建設

カーボンニュートラルを見据えたグローバルマザー工場を確立、中長期でコスト競争力を強化

電動車向け・超ハイテンプレス加工製品を増産 カーボンニュートラルに向けた施策を織り込む

- ・ものづくりの効率を追求した工場
- ・従業員がいきいきと働くことのできる工場

所在地 : 岐阜県大垣市

生産品目 : 自動車用プレス製品

敷地面積 : 約80,000m²

延床面積 : 約43,000m² (プレス・溶接工場)

投資金額 : 約130億円

工事着工 : 2021年11月

稼働開始 : 2023年 年央



新工場外観イメージ

従来工場比50%の CO2削減をめざす

- ・工場建物仕様
- ・工場原動力
- ・高効率設備
- ・物流システム
- ・再生可能エネルギー



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow